

Makita

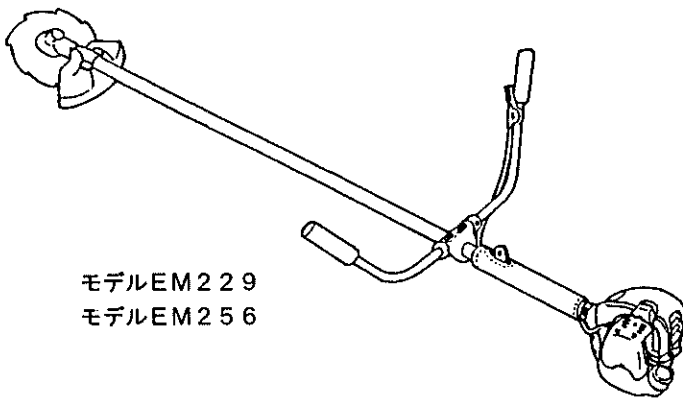
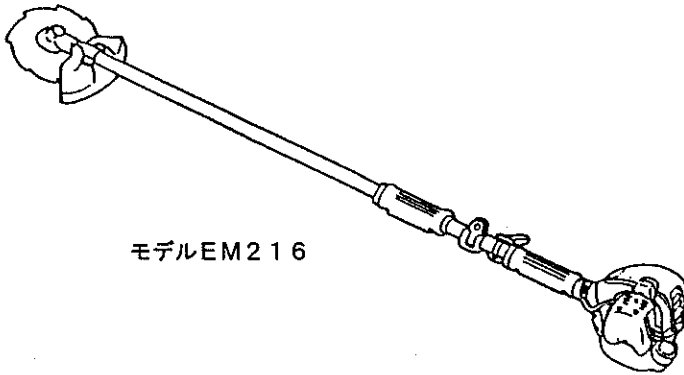
エンジン刈払機

モデルEM216

モデルEM229

モデルEM256

取扱説明書



目次









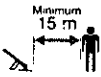

●シンボルマークについて	2
●エンジン製品の安全上のご注意	3
●エンジン刈払機の安全上のご注意	6
●仕様	9
●各部の名称	9
●使用準備	10
1. ハンドルワイヤの取り付け方	
2. スロットワイヤの取り付け方	
3. 飛散防護カバーの取り付け方	
4. 刈刃の取り付け、取りはずし方	
●運転	12
1. 燃料の給油	
2. 始動方法	
3. 停止方法	
●刈払作業	14
1. 緊急離脱装置付肩掛バンドの着脱方法	
2. 正しい作業方法	
●点検と整備	16
1. 刈刃の研ぎ方	
2. エアクリーナの清掃	
3. スパークプラグの点検	
4. ギヤケースの給油	
5. 冷却風通路の清掃	
6. キャブレタ(気化器)の調整	
7. マフラ排気出口の清掃	
●格納方法	18
●保守のスケジュール	18

このたびはマキタエンジン刈払機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。


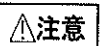
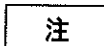
- お求めの製品を安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。
- この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。


シンボルマークについて

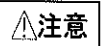
製品および取扱説明書にシンボルマークを掲載しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。

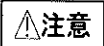
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。		換気の悪い場所では使用しないでください。
	混合燃料を入れてください。		飛散物に注意してください。
	エンジンを停止してください。		跳ね返り(キックバック)に注意してください。
	刃物軸の最高回転数よりも高い許容回転数の刈刃を使用してください。		燃料の混合、給油および機械を使用するとき、手入れをするときなどは、タバコを吸わないでください。
	作業中は半径15m以内に他の人や動物を近づけないでください。		燃料の混合、給油および機械を使用するとき、手入れをするときなどは、火気を近づけないでください。

注意文の 警告 注意 注 の意味について

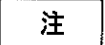
ご使用上の注意事項は  警告 と  注意  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要な注意。

エンジン製品の安全上のご注意

- ・引火、火災、けがなどの事故を少なくするために、次に述べる「エンジン製品の安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「エンジン製品の安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- ・機械の取り扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。



2. 安全装置を取りはずしたり、改造は絶対にしないでください。
- ・事故やけがの原因になります。

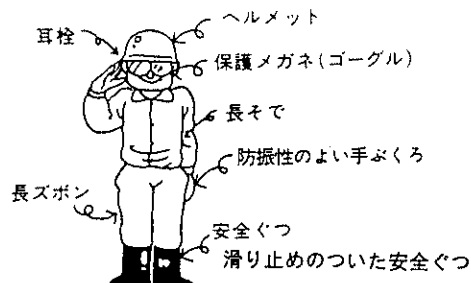
3. 事故の原因になります。次のときは機械を使用しないでください。
- ・疲れているとき、身体が不調なとき。
 - ・酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
 - ・夜間の使用。
 - ・妊婦による作業。



4. 袖や裾の締まりのよい服装をしてください。また手ぬぐいやタオルを首から下げて作業しないでください。
- ・回転部に巻き込まれけがの原因になります。

5. 身体を冷やさなような服装で作業してください。

6. 使用時は常に防振性の良い手袋。防護メガネ、耳栓、保護帽(ヘルメット)を使用し、履き物は滑りにくいものを着用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ・けがの原因になります。

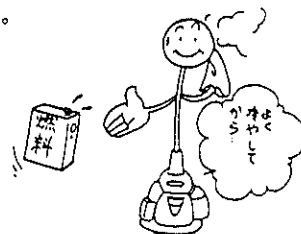


7. 燃料の取り扱いには十分注意してください。
- ・燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

8. 引火、火災の恐れがあります。
- ・燃料の持ち運びや保管、取り扱いには十分注意して下さい。
 - ・燃料の混合および給油をするときは火気のない所で行ってください。
 - ・燃料の混合、給油および機械を使用するとき、手入れをするときなどは、タバコを吸ったり、火気を近づけないでください。



- ・燃料の給油および燃料を抜くときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。

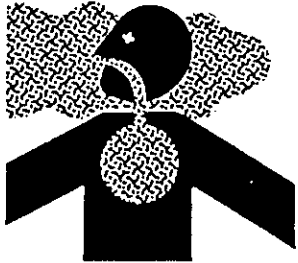




警告

- ・燃料はこぼさないように注意してください。こぼれたときは、きれいに拭き取ってください。
- ・燃料の給油をした場合でエンジンを始動させないでください。少なくとも3m以上離れてください。
- ・ガソリン、ガス、塗料、接着剤など引火性のある物の近くでは、使用しないでください。
- ・マフラの排気口付近は高温になりますので、燃えやすいものは近づけないでください。

9. エンジンの排気ガスは有害です。屋内、トンネル内など通気の悪い場所で、使用しないでください。
- ・通気の悪い場所で使用すると排気ガス中毒の原因になります。



10. 始動時および使用中には、プラグキャップ部に手を触れないでください。
- ・感電する恐れがあります。
11. 使用時は両手で確実に保持してください。またハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。
- ・確実に保持しないとけがの原因になります。



12. 雨上がりなど足元が滑りやすい場所では、使用しないでください。また、常に足元に注意し、バランスが保てる無理のない姿勢で使用してください。
- ・転倒してけがの原因になります。



13. 作業は、明るいときに行ってください。
- ・暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
12. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音が発生したときは、直ちにエンジンを停止させ使用を中止し、お買い求めの販売店、またはお近くのマキタ直営事業所に点検・修理を依頼してください。
- ・そのまま使用していると、けがの原因になります。





注 意

1. 使用前に損傷した部品がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・不完全な機械を使用するとけがの原因になります。

2. 調節キーやレンチなどは必ず取りはずしてください。
・付けたままでは使用時に飛び出して、けがの原因になる恐れがあります。

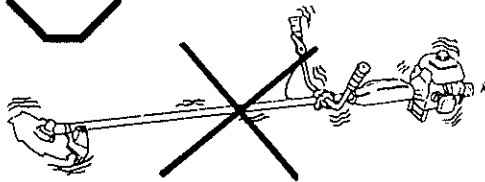
3. エンジンの始動、使用時には、周囲の人や障害物に十分注意して必ず一人で操作してください。
・事故の原因になります。



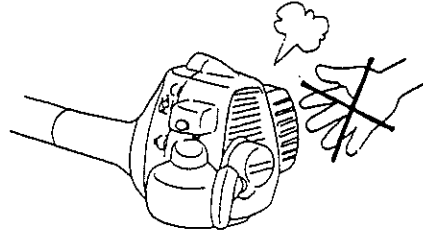
4. エンジンの始動は安定のよい場所で行ってください。
・事故の原因になります。

5. 騒音に関しては、法令および各都道府県の条例で定める騒音規制があります。状況によって、しゃ音壁を設けて作業してください。

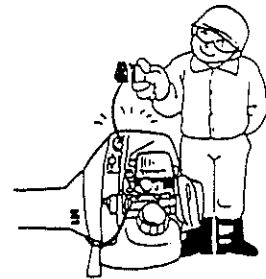
6. 使用を中断したり、移動するときは必ずエンジンを停止させてください。また、エンジンをかけたまま放置しないでください。
・エンジンをかけたままですと事故の原因になります。



7. 使用時およびエンジン停止直後は、マフラなどの高温部に身体が触れないように注意してください。
・やけどの原因になります。



8. 点検整備するときはエンジンを停止させ、エンジンが冷えてから行ってください。
また、スパークプラグからプラグキャップをはずしてください。
・停止直後やプラグキャップを付けたままですと、やけどや不用意な始動による、事故の原因になります。



9. 付属品および交換される部品は、必ず指定されたマキタ純正品をご使用ください。

- ・マキタ純正品以外のものを使用されますと、事故やけがの原因となる恐れがあります。

10. いつも安全に能率よくご使用いただくために定期点検をお勧めします。点検修理は、お買い求めの販売店またはお近くのマキタ直営事業所にお申しつけてください。

- ・修理の知識や技術のない人が修理しますと事故の原因になります。

エンジン刈払機の安全上のご注意

・先にエンジン製品としての共通の注意事項を述べましたが、エンジン刈払機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

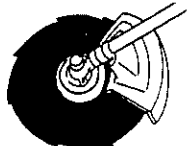
警告

1. 本機は、雑草の刈払いを目的とした機械です。この目的以外には、使用しないでください。
・目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。

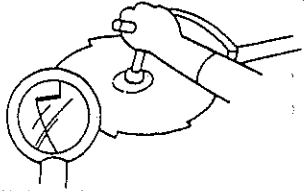
2. 刈刃は、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
・誤った取り付け方をしますと、刈刃がはずれ、けがの原因になります。



3. 飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。
・飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けずに使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。



4. 刈刃にひび割れ、欠け、変形などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。
・異常があると刈刃が破損しけがの原因になります。



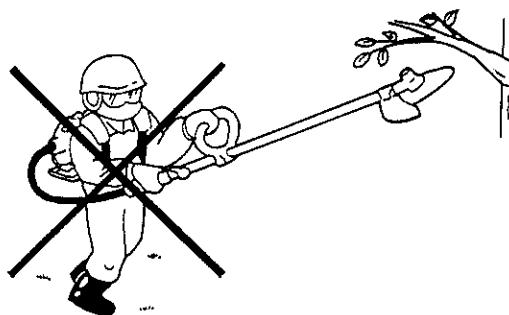
5. 刈刃は刃物軸最高回転数よりも高い許容回転数のものを使用してください。
・刈刃の許容回転数が低いと刈刃が破損し、事故の原因になります。



6. 使用中は刈刃や回転部に手や顔などを近づけないでください。
・けがの原因になります。



7. 枝打ち等の作業はしないでください。
・けがや事故の原因になります。



8. 刈払機は両手で確実に保持し、体重が両足にかかるように適当に開いて使用してください。また、付属の緊急離脱装置付肩掛バンドを必ず着用してください。
・確実に保持しないとけがの原因になります。



9. 使用中に刈刃が石などの障害物に当たったときは、すぐにエンジンを停止させ異常がないか調べてください。
・そのまま使用していると事故の原因になります。

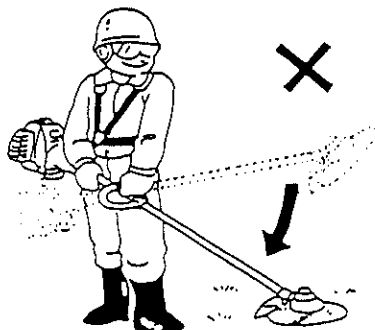


10. 刈刃に雑草などがからみついたときは、必ずエンジンを停止し、刈刃の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。
・刈刃やエンジンが回ったままではけがの原因になります。

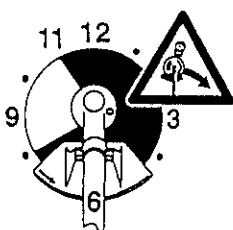
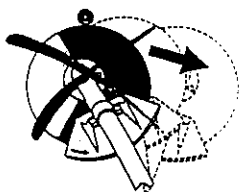


警告

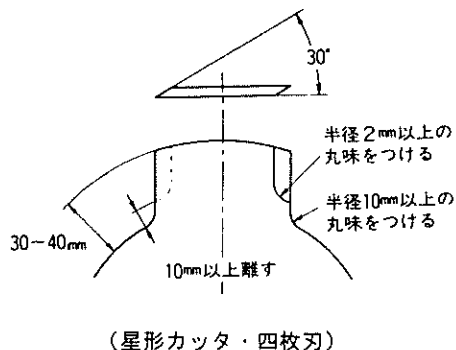
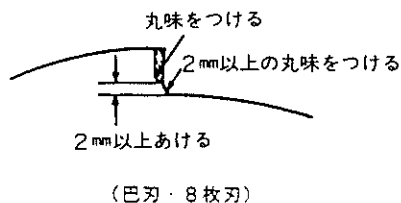
11. 刈刃で打つ、たたく等の方法で刈払作業をしないでください。
・跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。



12. 跳ね返り(キックバック)を防止するため、8時から11時の位置で切断してください。
・12時から4時の位置で切断すると跳ね返りが発生し、けがや事故の原因になります。



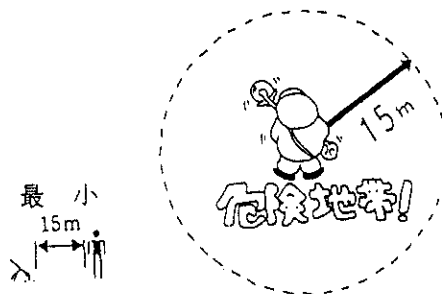
13. 誤って落としたり、ぶっつけときは、刈刃や機械などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
14. 刈刃を研ぐときは、刃の根元に丸味をつけてください。
・丸味をつけなかった場合、使用中に刈刃が破損し事故の原因になる恐れがあります。



注意

1. 長時間の作業は、身体に負担がかかります。連続使用は1時間以内にしてください。
また少なくとも30分以上の休憩をとるようにしてください。
・身体が疲労すると注意力が欠け、けがや事故の原因になります。

2. 使用中は半径15m以内に他の人や動物などを近づけないでください。また2人以上で作業を行うときは、お互いに15m以上の間隔を取り、監督者をおいてください。
・不用意に他の人や動物などを近づけると事故の原因になります。



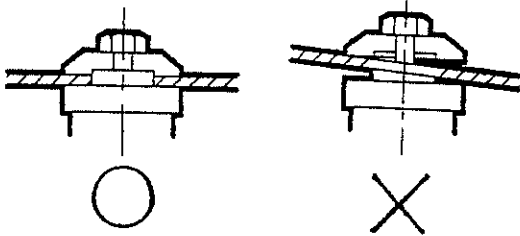


注 意

3. 刈払機を使用している人に近づくときは、使用者から15m以上離れた位置で合図し、エンジンが停止したことを確認してから近づいてください。
- ・不用意に近づくとう使用者が気が付かず事故の原因になります。

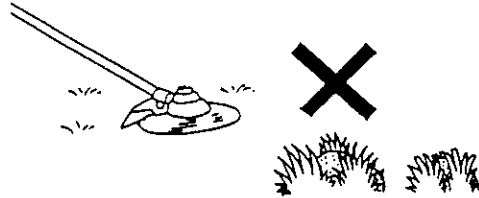


4. 刈刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋をしてください。
- ・けがの原因になります。
5. 刈刃を取り付ける場合は、内側フランジの凸部と刈刃の取付穴を確実にはめてください。
- ・刈刃が正しく取り付けいていないと異常振動し事故の原因になります。

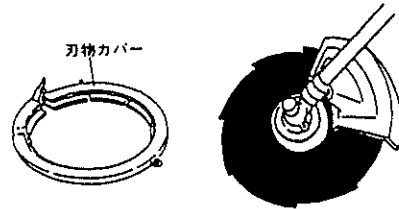


6. スロットルワイヤは、腰当てやグリップの穴に通して使用してください。
- ・スロットルワイヤがたれていると枝等に引っ掛けやすくなり、事故の原因になります。
7. エンジンを始動させるときに、刈刃が地面やその他の障害物に触れていないことを確認してください。
- ・刈刃が障害物に触れていると事故の原因になります。
8. エンジンが始動すると同時に刈刃が回転します。周囲の人や障害物に十分注意してください。
- ・けがの原因になります。
9. 刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たる恐れのある場所では使用しないでください。
- ・使用中に刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たると、跳ね返りまたは刈刃が破損し、事故の原因になります。

10. 刈払いする場所にある小石、針金、空カン、空ビンなどの障害物は取り除いてから使用してください。
- ・使用中に刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、機械の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故の原因になります。



11. 運搬時や格納時は刃物カバーを必ず取り付けてください。
- ・けがの原因になります。また刈刃の損傷防止になります。



12. 注意ラベルがはがれてしまった場合は、新しい注意ラベルを貼ってください。
- 注意ラベルは、お買い求めのマキタ登録販売店またはお近くのマキタ直営事業所にお申しつけください。
13. 刈刃回転数は、4,000~6,000 rpm が目安です。
- ・回転が低すぎますと雑草がからみつくことがあります。
 - ・回転数が高すぎますと燃費が悪だけでなく、機械の寿命を縮める原因にもなります。

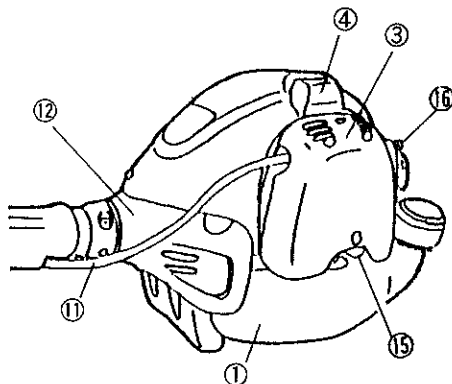
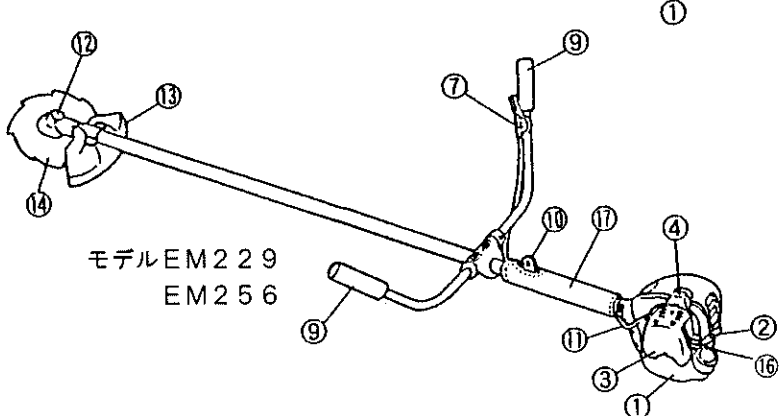
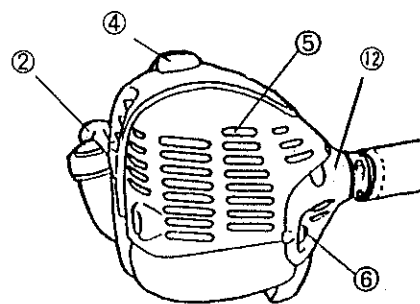
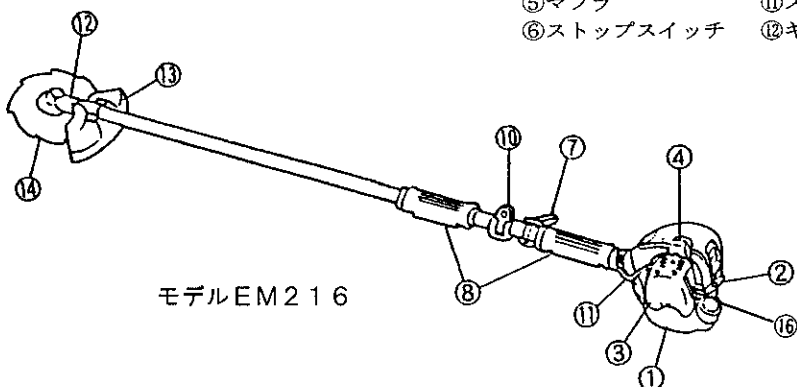
仕様

モデル名	EM216	EM229	EM256
乾燥重量(kg)	4.4	4.8	
寸法(全長×全幅×全高)(mm)	1770×195×220	1770×595×375	
刃物軸最高回転数(rpm)	7,700		
エンジン	総排気量(cc)	21.7	24.5
	使用燃料	無鉛ガソリンと2サイクル専用オイルの混合ガソリン(混合比25:1)	
	燃料タンク容量(ℓ)	0.65	
	気化器	ダイヤフラム式	
	点火方式	無接点マグネット方式	
	点火プラグ	NGK BM7A 相当品	
	始動方式	リコイル式(デコンプ付)	
動力伝達部	クラッチ方式	自動遠心方式	
	ギヤ変速比	1:1.29 減速	
操作部	携行バンド	緊急離脱装置付肩掛バンド	
	操作ハンドル	2グリップ式	防振付両持ち型分割式
	エンジン回転制御方式	固定スロットルレバー式	
標準装備品	刈刃(230mm巴刃・8枚刃)、飛散防護カバー、刃物カバー、肩掛バンド、工具一式、防護メガネ		

1. 刈刃、オイル、スパークプラグは、マキタ指定のものをご使用ください。
2. 仕様は都合により変更させていただくことがあります。

各部の名称

- | | | |
|------------|-----------|----------|
| ①燃料タンク | ⑦スロットルレバー | ⑬飛散防護カバー |
| ②スタータハンドル | ⑧グリップ | ⑭刈刃 |
| ③エアクリーナカバー | ⑨ハンドル | ⑮プライマポンプ |
| ④スパークプラグ | ⑩ハンガー | ⑯チョークレバー |
| ⑤マフラ | ⑪スロットルワイヤ | ⑰腰当て |
| ⑥ストップスイッチ | ⑫ギヤケース | |

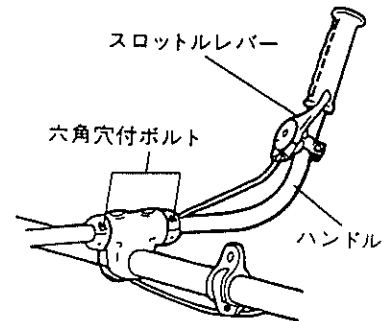


使用準備

本機はハンドル、飛散防護カバー、刈刃がはずしてありますので次の手順で付属の工具を使用し取り付けてください。なおモデルEM216には、ハンドルが付いておりません。

1. ハンドルの取り付け方(対象モデルEM229・EM256)

- ①ハンドル取付部の4本の六角穴付ボルトをゆるめてください。
- ②スロットルレバーの付いたハンドルが右側に、付かないハンドルが左側になるようにして、ハンドルを取付部の奥に当たるまで(矢印ラベルの位置まで)差し込んでください。
- ③ハンドルの取付角度を使いやすい位置に調整し、六角穴付ボルトを左右均等に締め付けてください。

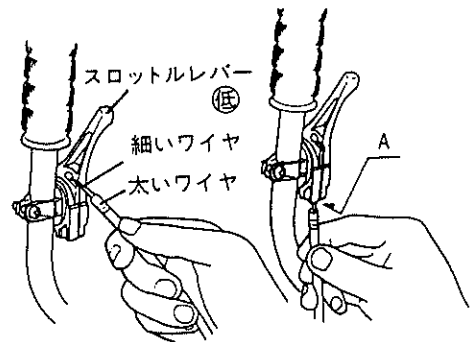


注

- ハンドルの取り付けは、ボルトの締めすぎに注意してください。
ハンドル部分には防振機構が付いていますので、ハンドルは若干ぐらつきがあります。

2. スロットルワイヤの取り付け方(対象モデルEM229・EM256)

- ①スロットルレバーをⒺ側(反時計方向)いっぱい倒してください。
- ②細いワイヤの金具を、スロットルレバー裏側の丸穴にはめ込み、細いワイヤをスロットルレバー側面の溝に沿わせてください。
- ③スロットルレバー側面の丸穴(A部)に、太いワイヤの金具を差し込んでください。

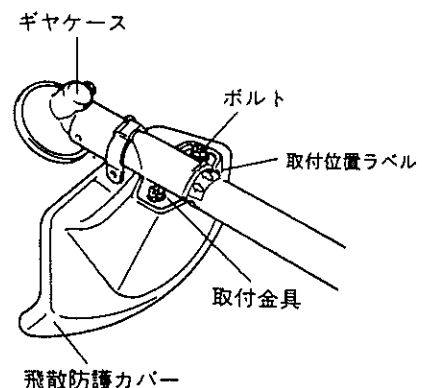


3. 飛散防護カバーの取り付け方

警告

- 飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。
- ・飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けずに使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。

- ①飛散防護カバーを、取付金具の凸部がギヤケース側になるようにして2本のボルトで図の位置に取り付けてください。
- ②取付金具の凸部を、ギヤケースの角穴に入れてボルトをしっかり締め付けてください。

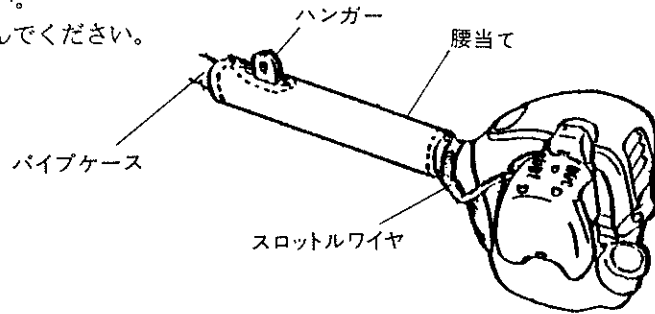


4. 腰当ての取り付け方(対象モデルEM229・EM256)

⚠ 注意

- スロットルワイヤは腰当てやグリップの穴に通して使用してください。
- ・ スロットルワイヤがたれていると枝等に引っ掛けやすくなり、事故の原因になります。

- ・ 腰当てを図のように取り付けてください。
- この時、スロットルワイヤと一緒に包んでください。

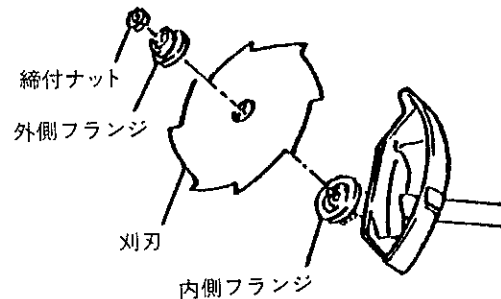


5. 刈刃の取り付け、取りはずし方

⚠ 注意

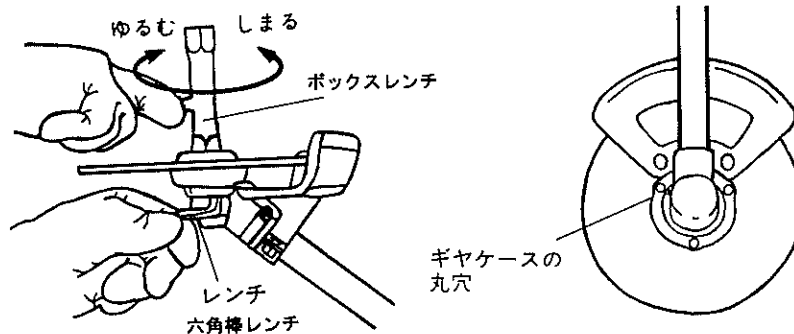
- 5. 刈刃を取り付ける場合は、内側フランジの凸部と刈刃の取付穴を確実にはめてください。
- ・ 刈刃が正しく取り付いていないと異常振動し事故の原因になります。
- 4. 刈刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋をしてください。
- ・ けがの原因になります。

- ① 本機を裏返しにしてください。
- ② ギヤケースの丸穴に六角棒レンチを差し込み、フランジを回して軸を固定してください。
- ③ 外側フランジ凹部の締付ナットを右へ回して締付ナット・外側フランジをはずしてください。
- ④ 内側フランジの凸部と刈刃の取付穴を合わせて、刈刃→外側フランジ→締付ナットの順に取り付け、ボックスレンチで締付ナットを左へ回してしっかり締め付けてください。



(刈刃は、文字の入っている面を下側にして下さい)

刈刃を取りはずすときは、取り付け方の逆の要領で行ってください。



運転

1. 燃料の給油

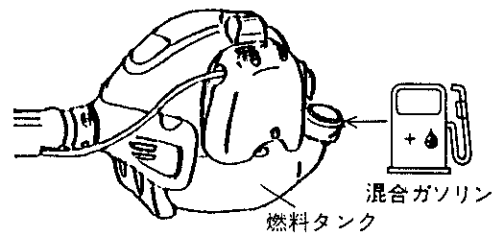
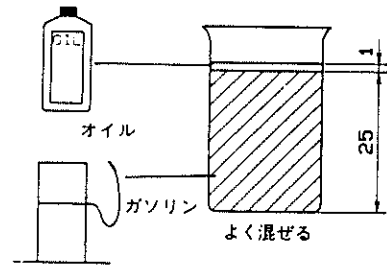
警告

- 燃料の混合および給油をするときは必ず次の事項をお守りください。引火・火災の原因になります。
 - ・火気のない所で行ってください。またタバコを吸ったり、火気を近づけないでください。
 - ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
 - ・燃料はこぼさないように注意してください。
こぼれたときは、きれいに拭き取ってください。
- 燃料の取り扱いには十分注意してください。
 - ・燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。
体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

注

- 燃料の入っている燃料タンクのふたを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。

- ・本機に使用する燃料は、無鉛ガソリンと2サイクル専用エンジンオイルを25：1の割合で混ぜた混合ガソリンです。
- ・無鉛ガソリンに混ぜるオイルの種類や混合する割合が異なると、エンジン不調の原因になりますので必ず指定されたオイルを指定の割合で混合してください。
- ・燃料タンクのふたを開けて、こぼさないように注意しながら混合ガソリンを入れてください。
- ・給油が終わりましたら燃料タンクのふたをしっかりと締め付けてください。



2. 始動方法

警告

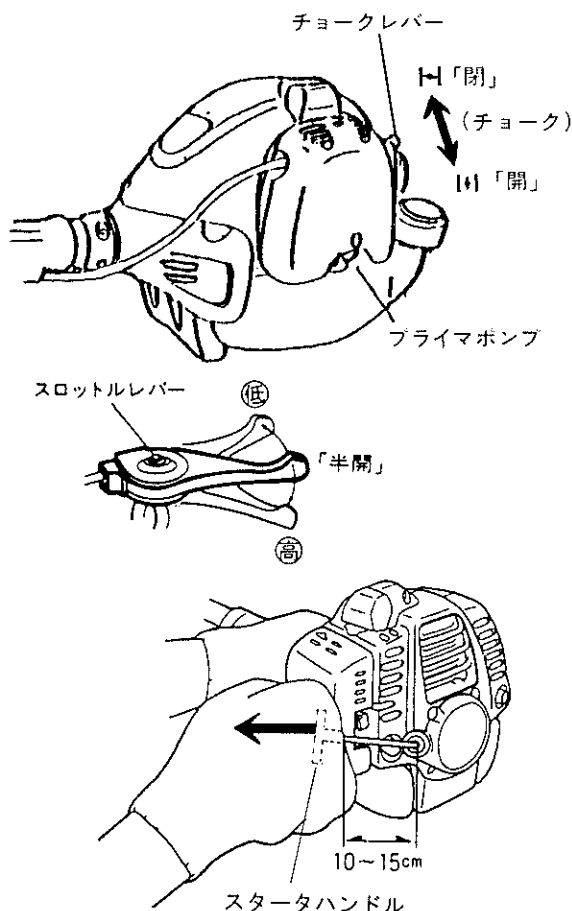
- 燃料の給油をした場所でエンジンを始動させないでください。少なくとも3m以上離れてください。
 - ・引火、火災の原因になります。

注意

- エンジンを始動させるとき、刈刃が地面やその他の障害物に触れていないことを確認してください。
 - ・刈刃が障害物に触れると事故の原因になります。
- エンジンが始動すると同時に刈刃が回転します。周囲の人や障害物に十分注意してください。
 - ・けがの原因になります。

1) エンジンが冷えている場合または燃料の給油をした場合

- ①本機を平坦な地面の上に置いてください。
- ②燃料がプライマポンプに入るまで、プライマポンプを繰り返し押ししてください。
通常7~10回押し燃料が上がってきます。
- ③チョークレバーを「閉」の位置にしてください。
- ④スロットルレバーを「半開」の位置にしてください。
- ⑤本機が動かないように片手でホルダーケース部を押さえ、腰を十分落として安定した姿勢をとってください。
- ⑥スタータハンドルに抵抗を感じるまでゆっくり引き出してください。
- ⑦抵抗を感じたら勢いよく引き出し、最初の爆発音がするまで繰り返してください。
- ⑧爆発音がしたらチョークレバーを「開」の位置にして、再びスタータハンドルを数回引いて始動させてください。
- ⑨エンジンが始動しましたら、スロットルレバーを「低」の位置に戻し1~2分間暖機運転してください。
- ⑩エンジンの回転が安定し、低速から高速回転にしたときに滑らかに加速するようになれば暖機運転完了です。

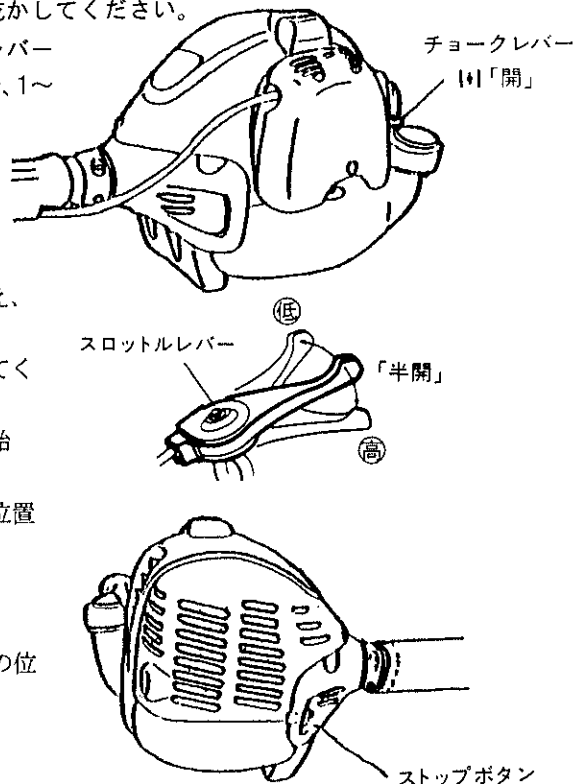


注

- チョークレバーを「閉」の位置にしたまま、スタータハンドルをいつまでも繰り返し引き続けると燃料を吸い込みすぎて始動しにくくなります。
- 燃料を吸い込みすぎたときは、スパークプラグをはずしてスタータハンドルをゆっくり数回引いて余分な燃料を出してください。またスパークプラグの電極部を乾かしてください。
エンジンが冷えている時(始動直後)、急にスロットルレバーを操作されると、加速の悪い時があります。この場合、1~2分間の暖気運転を行ってください。

2) エンジンが暖まっている場合

- ①本機を平坦な地面の上に置いてください。
- ②スロットルレバーを「半開」の位置にしてください。
- ③本機が動かないように、片手でホルダーケース部を押さえ、腰を十分落として安定した姿勢をとってください。
- ④スタータハンドルに抵抗を感じるまでゆっくり引き出してください。
- ⑤スタータハンドルに抵抗を感じたら勢いよく引き出して始動させてください。
- ⑥エンジンが始動しましたら、スロットルレバーを「低」の位置に戻してください。



3. 停止方法

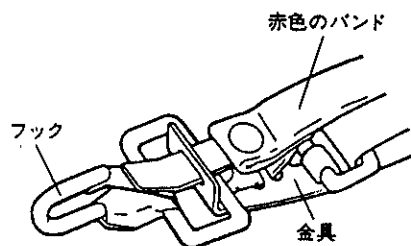
- ・エンジンを停止させるときは、スロットルレバーを「低」の位置に戻し、ストップボタンを押してください。

刈払作業

1. 緊急離脱装置付肩掛バンドの着脱方法

①肩掛バンドの金具とフックが図の状態になっているか確認してください。

もし、はずれている場合は、図のように金具とフックを取り付けてください。



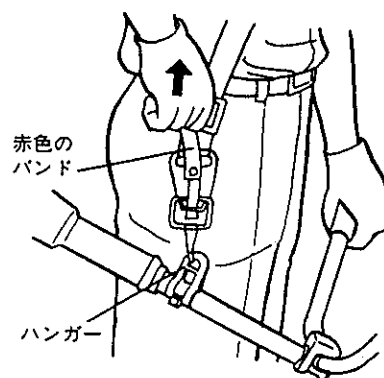
②赤色のバンドが外側へ向くように、肩掛バンドのフックをハンガーに引っ掛けてください。

③肩掛バンドを左肩へたすき掛けにしてください。

④ハンドル(モデルEM216はグリップ)を握り、手を自然に下げたとき刈刃が地面と平行になるように、また作業しやすい位置に肩掛バンドの長さを調節してください。



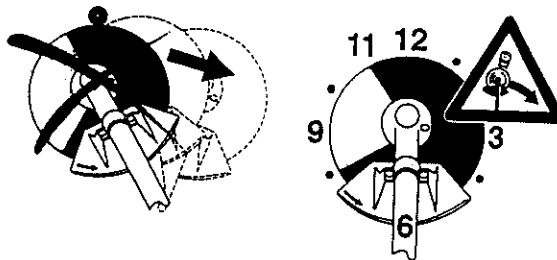
⑤本機を緊急に身体から離さなければいけない状態が起きたときは、スロットルレバーをⒺの位置に戻し、赤色のバンドを上方へ強く引いてください。本機が身体から離脱します。



2. 正しい作業方法

警告

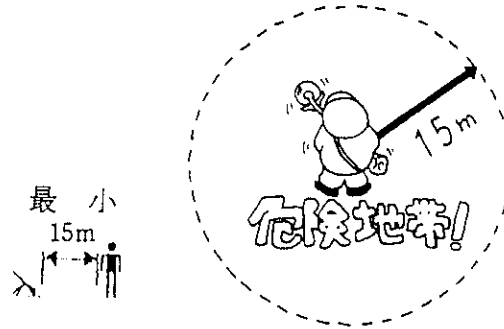
- 跳ね返り(キックバック)を防止するため、8時から11時の位置で切断してください。
 - ・12時から4時の位置で切断すると跳ね返りが発生し、けがや事故の原因になります。



- 使用中は、刈刃や回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
- 刈刃に雑草などがからみついたときは、必ずエンジンを停止し、刈刃の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。
 - ・刈刃やエンジンが回ったままではけがの原因になります。
- 刈刃で打つ、たたく等の方法で刈払作業をしないでください。
 - ・跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。
- 雨上がりなど足元が滑りやすい場所では、使用しないでください。また常に足元に注意し、バランスが保てる無理のない姿勢で使用ください。
 - ・転倒してけがの原因になります。

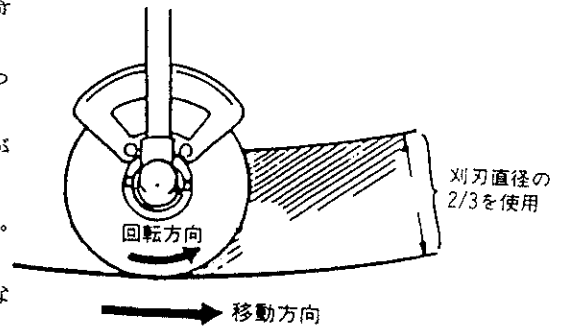
⚠ 注 意

- 使用中は半径15m以内に他の人や動物などを近づけないでください。また2人以上で作業を行うときは、お互いに15m以上の間隔を取り、監督者をおいてください。
 - ・不用意に他の人や動物などを近づけると事故の原因になります。



- 刈払いする場所にある小石、針金、空カン、空ビンなどの障害物は取り除いてから使用して下さい。
 - ・使用中、刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、機械の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故の原因になります。

- ・刈払作業する場所に空カン、空ビン、針金など危険なものがないかよく調べ、危険なものを取り除いてください。
- ・エンジンを始動させ、肩掛バンドを着用して身体の右側に吊ってください。
- ・両手でハンドルを保持し、両足に平均に体重がかかるように適当に開いてください。
- ・刈刃を地面から浮かし、スロットルレバーを調節しながら草刈作業に合った適当な回転にします。
刈刃の回転が低すぎますと、雑草が刈刃にからみつくことがありますので注意してください。
- ・刈払機は、身体のまわりを右から左へ回すようにしながら前進し、雑草を刈ってください。
このとき刈刃を左側へ少し傾けますと、刈った雑草が左側に寄り能率的に作業が行えます。
- ・刈り残しをなくすために、刈刃の先端から2/3の範囲で刈ってください。
- ・雑草が高く繁っているときは、まず雑草を低く刈って障害物がよく見えるようにしてからもう一度刈り取ってください。
- ・傾斜地では、斜面の下方へ向かって刈り進まないでください。特に急な箇所は、手工具で刈り払ってください。
- ・斜面で同時に作業を行う場合は、作業者の位置が上下にならないようにしてください。



点検と整備

⚠ 注意

- 点検整備するときはエンジンを停止させ、エンジンが冷えてから行ってください。また、スパークプラグからプラグキャップをはずしてください。
 - ・停止直後やプラグキャップを付けたままですと、やけどや不用意な始動による、事故の原因になります。
- 刈刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋をしてください。
 - ・けがの原因になります。

1. 刈刃の研ぎ方

⚠ 警告

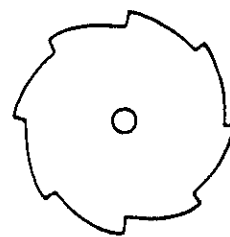
- 刈刃を研ぐときは、刃の根元に丸味をつけてください。
 - ・丸味をつけなかった場合、使用中に刈刃が破損し事故の原因になる恐れがあります。

1. 刈刃の研ぎ方

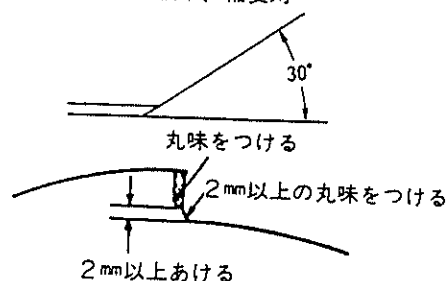
1) 巴刃・8枚刃の研ぎ方

- ・刃研ぎする部分は、刃の根元から2mm以上離れた外側の部分にしてください。
- ・刃は図のように刃先角度30°に研ぎ、刃研ぎした部分の根元および刃の根元には半径2mm以上の丸味をつけてください。
- ・グラインダを使用して刃研ぎされる場合は、強く押しつけて研いだり、水などをかけて急に冷やさないでください。
- ・刃は8枚とも均等に刃研ぎしてください。刃が不均等になりますと、バランスがくずれて振動が大きくなります。

巴 刃



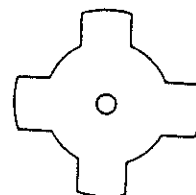
用途：牧草、稲麦刈



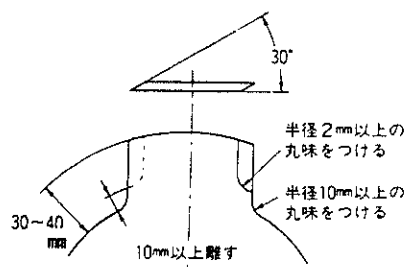
2) 星形カッタ・4枚刃の研ぎ方

- ・刃研ぎする部分は、刃の根元から10mm以上離れた外側の部分にしてください。
- ・刃は図のように刃先角度30°に研ぎ、刃研ぎした部分の根元には半径2mm以上、刃の根元には半径10mm以上の丸味をつけてください。
- ・グラインダを使用して刃研ぎをされる場合は、強く押しつけて研いだり、水などをかけて急に冷やさないでください。
- ・刃は4枚とも均等に刃研ぎしてください。刃が不均等になりますと、バランスがくずれて振動が大きくなります。

星形カッタ

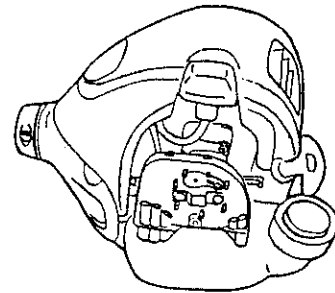
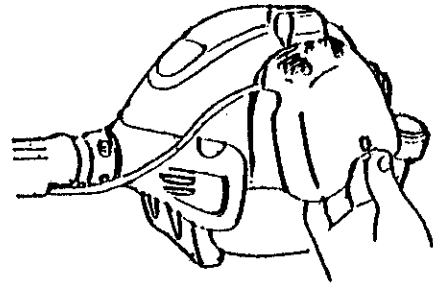


用途：草刈牧草類



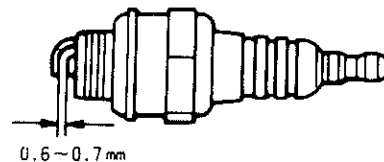
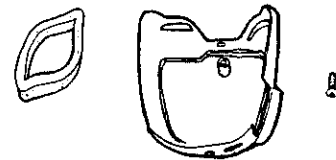
2. エアクリーナの清掃

- ・エアクリーナが目詰まりすると始動困難になったり、エンジンの回転が上がらない場合があります。
- 作業終了後には、次の要領で清掃してください。
- ①ゴミやほこりがキャブレタに入るのを防ぐために、チョークレバーを「H」の位置にしてください。
- ②エアクリーナカバーの小ネジをはずしてください。
- ③エアクリーナカバーの下に指を入れてカバーを押し下げ、下側のツメをはずしエアクリーナカバーをはずしてください。
- ④エアクリーナを取り出して石けん水でよく洗い、よく乾かしてください。
- ⑤清掃が終わりましたらエアクリーナを取り付けてください。
- ⑥エアクリーナカバーの上側の爪をはめ込んでから、カバーを押し付けエアクリーナカバーを取り付け、小ネジを締め付け、チョークレバーを「I」の位置に戻してください。



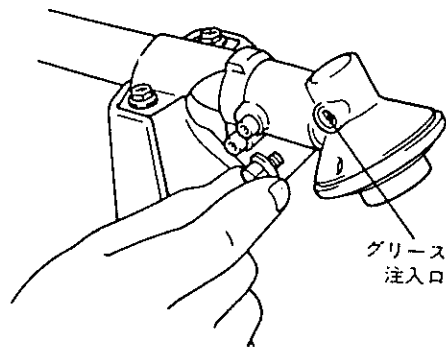
3. スパークプラグの点検

- ・プラグキャップを抜いてスパークプラグをはずしてください。
- ・電極の隙間が0.6~0.7mmになっているか確認してください。もし広がりすぎたり、狭すぎる場合は調整してください。
- ・カーボンが溜まったり、汚れている場合はきれいに清掃してから取り付けてください。
- ・またひどく磨耗したり、焦げているものは新品と交換してください。
- ・交換に際しては、NGK-BM7AもしくはNGK-BM7A相当品をご使用ください。
- ・点検後は、プラグキャップをスパークプラグに差し込んでください。



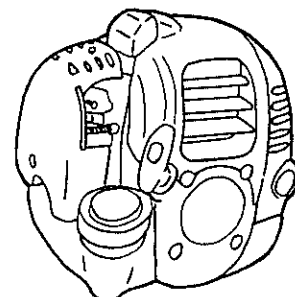
4. ギヤケースの給油

- ・使用30時間毎に、ギヤケース側面の六角ボルトをはずしてグリースを給油してください。



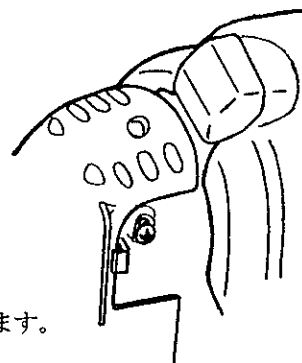
5. 冷却風通路の清掃

- ・吸気口やシリンダフィンにゴミが詰まるとエンジンの冷却が悪くなります。時々点検してゴミを取り除いてください。



6. キャブレタ(気化器)の調整

- ・キャブレタは出荷時に燃料が最適に供給されるように調整してありますから、むやみに調整しないでください。
- ・もし調整が必要になりましたら、最寄りのマキタ直営営業所にお申しつけください。
- ・アイドルリング時に刈刃が回転するときは、アイドル調整を行ってください。
- ・アイドル調整は、エアクリーナカバー後部から⊕ドライバを入れ、調整ネジを回してください。
- ・調整ネジは、右へ回すと回転が上がり、左へ回すと回転下がります。



7. マフラ排気出口の清掃

- ・マフラの出口は定期的にチェックしてください。もしカーボンなどが付着し、詰まっている場合には、付属のレンチ等でカーボンを取り除いてください。

格納方法

⚠ 警告

- 燃料を抜くとき、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
 - ・停止直後では、やけどまたは引火、火災の原因になる恐れがあります。

注

- 長期間ご使用にならないときは、燃料タンクやキャブレタから燃料を全部抜いて、乾燥したきれいな場所に格納してください。
 - ・次の要領で燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。
 - ①燃料タンクのふたをはずして、燃料を抜いてください。
 - ②燃料タンク内からフィルタを外へ出し、プライマポンプ内の燃料がなくなるまでプライマポンプを数回押ししてください。
 - ③最後にエンジンが停止するまで運転させてください。
 - ・スパークプラグをはずし、その穴からエンジンオイルを数滴たらしめてください。
 - ・スタータハンドルをゆっくり引き、エンジン内にオイルを行きわたらせスパークプラグを取り付けてください。

保守のスケジュール

使用 前	エンジン、ねじ、ナット	損傷と締まり具合の目視検査 全体的な状態と安全度の確認
給 油 後	スロットルレバー ストップスイッチ	機能確認 機能確認
毎 日	エアクリーナ 冷却風通路 刈刃 アイドルリング時	掃除 掃除 損傷と切れ味を確認 確認、刈刃は回転しないこと
30 時間 毎	ギヤケース	グリースの補給
毎 週	スパークプラグ マフラ	チェック、必要な場合は交換 チェック、必要な場合は排気出口(テールパイプ)を掃除
3 ヶ 月 毎	燃料フィルタ 燃料タンク	交換 掃除
休業休止時	燃料タンク キャブレタ	空にする エンジンを運転し続け燃料を空にする



全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141	足立営業所	〈03〉(3899) 5855	東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
札幌営業所	〈011〉(783) 8141	大田営業所	〈03〉(3763) 7553	関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960	江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171	南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849	多摩営業所	〈042〉(384) 8411	奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
函館営業所	〈0138〉(49) 9273	立川営業所	〈042〉(542) 1201	橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100	横浜支店	〈045〉(472) 4711	和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833	横浜営業所	〈045〉(472) 4711	田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
北見営業所	〈0157〉(26) 9011	川崎営業所	〈044〉(811) 6167	沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
仙台支店	〈022〉(284) 3201	平塚営業所	〈0463〉(54) 3914	兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
仙台営業所	〈022〉(284) 3201	相模原営業所	〈042〉(757) 2501	三木営業所	〈0794〉(82) 7411
古川営業所	〈0229〉(24) 0698	湘南営業所	〈0466〉(87) 4001	尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
青森営業所	〈017〉(764) 4466	静岡支店	〈054〉(281) 1555	神戸営業所	〈078〉(672) 6121
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321	静岡営業所	〈054〉(281) 1555	姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221	沼津営業所	〈055〉(923) 7811	広島支店	〈082〉(293) 2231
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101	浜松営業所	〈053〉(464) 3016	広島営業所	〈082〉(293) 2231
郡山営業所	〈024〉(932) 0218	甲府営業所	〈055〉(276) 7212	福山営業所	〈084〉(923) 0960
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061	金沢支店	〈076〉(249) 5701	三原営業所	〈0848〉(64) 4850
新潟支店	〈025〉(247) 5356	金沢営業所	〈076〉(249) 5701	岡山営業所	〈086〉(243) 4723
新潟営業所	〈025〉(247) 5356	七尾営業所	〈0767〉(52) 3533	宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530	富山営業所	〈076〉(451) 6260	徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
山形営業所	〈023〉(643) 5225	高岡営業所	〈0766〉(21) 3177	鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551	福井営業所	〈0776〉(35) 1911	松江営業所	〈0852〉(21) 0538
秋田営業所	〈018〉(863) 5205	岐阜支店	〈058〉(274) 1315	高松支店	〈087〉(841) 2201
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295	岐阜営業所	〈058〉(274) 1315	高松営業所	〈087〉(841) 2201
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295	多治見営業所	〈0572〉(22) 4921	徳島営業所	〈088〉(626) 0555
小山営業所	〈0285〉(25) 5559	松本営業所	〈0263〉(25) 4696	松山営業所	〈089〉(951) 7666
水戸営業所	〈029〉(248) 2033	長野営業所	〈026〉(225) 1022	宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
土浦営業所	〈029〉(821) 6086	上田営業所	〈0268〉(22) 6362	高知営業所	〈088〉(884) 7811
関東物流センター	〈048〉(771) 3451	飯田営業所	〈0265〉(24) 1636	福岡支店	〈092〉(411) 9201
埼玉支店	〈048〉(771) 3462	名古屋支店	〈052〉(571) 6451	福岡営業所	〈092〉(411) 9201
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801	名古屋営業所	〈052〉(571) 6451	北九州営業所	〈093〉(551) 3481
川越営業所	〈049〉(222) 2512	一宮営業所	〈0586〉(75) 5382	飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647	東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072	久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155	知多営業所	〈0569〉(48) 8470	佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
前橋営業所	〈027〉(232) 5575	岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443	長崎営業所	〈095〉(882) 6112
高崎営業所	〈027〉(365) 3688	豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117	佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661	四日市営業所	〈0593〉(51) 0727	熊本支店	〈096〉(389) 4300
千葉支店	〈043〉(231) 5521	津営業所	〈059〉(232) 2446	熊本営業所	〈096〉(389) 4300
千葉営業所	〈043〉(231) 5521	伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210	八代営業所	〈0965〉(43) 1000
市川営業所	〈047〉(328) 1554	京都支店	〈075〉(621) 1135	大分営業所	〈097〉(567) 3320
成田営業所	〈0478〉(73) 8101	京都営業所	〈075〉(621) 1135	宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908	福知山営業所	〈0773〉(23) 7733	鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
柏営業所	〈04〉(7175) 0411	大津営業所	〈077〉(545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	〈03〉(3816) 1141	彦根営業所	〈0749〉(22) 6184		
東京営業所	〈03〉(3816) 1141	大阪支店	〈06〉(6351) 8771		
中野営業所	〈03〉(3337) 8431	大阪営業所	〈06〉(6351) 8771		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)